

# 令和6年郡山市議会9月定例会提案理由

(令和6年9月4日)

令和6年郡山市議会9月定例会の提案理由の説明に先立ち、郡山市名誉市民、湯浅譲二先生の御逝去について、一言申し上げます。

湯浅譲二先生におかれましては、去る7月21日に御逝去されました。

先生は、長年にわたり作曲活動に専念され、創造的かつ先進的な技法を駆使した作品により日本の現代音楽の礎を築くとともに、管弦楽、室内楽、電子音楽、合唱、劇場用音楽など幅広い分野で創作を続け、ベルリン芸術祭審査員特別賞をはじめ、サントリー音楽賞、尾高賞を受賞するなど、国際的にも高い評価を受けてこられました。

また、1996（平成8）年からは本市フロンティア大使として各種施策に対する御助言や本市のPR活動にも積極的に御支援いただくとともに、金透小学校をはじめ市内小中学校の校歌等や市制施行90周年・合併50年の記念作品を制作していただくなど、本市のまちづくり並びに教育・文化の振興にも多大なる御貢献をいただきました。

湯浅譲二先生のような数々の御功績は、正に郡山市民の誇りであることから、2017（平成29）年に名誉市民の称号をお受けいただいたところであります。

この度の突然の訃報は誠に大きな悲しみではありますが、先生が遺された幾多の御功績と作品は、郡山市民はもちろん、国境を越え、世代を超え多くの人々の中に生き続けるものと確信をしております。悲しみを乗り越え、湯浅譲二先生の御遺志を次世代へと継承し、一層の努力を傾注してまいることをここにお誓いいたします。

謹んで市民の皆様とともに哀悼の意を表し、心から御冥福をお祈り申し上げます。

それでは、当面する市政の課題並びに今回提出いたしました議案の概要等について御説明申し上げます。

はじめに、**市政を取り巻く情勢**について申し上げます。

まず、**国の動向**については、去る7月29日に閣議了解の「令和7年度予算の概算要求基準」において、「経済財政運営と改革の基本方針2024」に基づき、重要な政策の選択肢をせばめることなく、経済・財政一体改革を進めながら、歳出全般にわたり、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ予算の中身を大胆に重点化していく、との方針が示されました。

これら国の政策動向を注視し、時機を逸することなく市民生活、地域経済に即応できるよう、引き続き迅速な情報収集及び分析に努め、適切な対応に努めてまいります。

次に、**最近の景気動向と雇用情勢**について申し上げます。

我が国の経済について、内閣府は8月29日発表の月例経済報告において、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。」として基調判断を引き上げております。

また、日銀福島支店は7月18日発表の金融経済概況において、「県内景気は、緩やかな持ち直しを続けているものの、そのペースは鈍化している。」と総括判断を据え置いております。

雇用情勢については、郡山公共職業安定所管内の7月の有効求人倍率は1.34倍となっており、前月比で0.06ポイント上回り、全国平均の1.24倍、県平均の1.25倍と比較しましても、それぞれ上回っております。

引き続き、情報の収集・分析・提供に努めてまいります。

次に、**農作物の生育状況**について申し上げます。

梅雨明けは、平年より8日遅い8月1日頃となり、梅雨期間全般を通して降水量が少なかったものの、影響は少なく、その後は、高気圧に覆われ、高温条件の中、農作物の生育は概ね順調に推移しております。

8月に入り発生した台風第5号、第7号及び第10号については、いずれも進路が本県から離れたことから影響は少なく、水稻、野菜、果樹類については、平年よりも早く生育しております。

なお、8月30日に農林水産省が発表した8月15日現在の福島県の水稲の作

柄概況は「やや良」となっております。

今後とも、気候変動等を十分注視しながら、関係機関、農業団体及び経済団体等と連携を密にし、生産者の支援に万全を期してまいります。

続きまして、**当面する市政の課題並びに提出議案の概要**について申し上げます。

はじめに、**台風第5号、第7号及び第10号に関する本市の対応**についてであります。

8月12日に岩手県に上陸した台風第5号については、8月11日に災害対策本部会議を開催し、国、県、自衛隊、警察等の関係機関とともに、台風に備えた体制の構築を図ったところであります。

また、8月16日から17日にかけて関東地方の沿岸部に接近した台風第7号、さらに、8月29日から9月1日にかけて、九州から四国、近畿地方と西日本を縦断し、台風から離れた東海地方や関東地方にも甚大な被害をもたらした台風第10号についても、災害対策本部体制を継続し、防災体制の確保に万全を期したところであります。

避難体制の確保については、いずれの台風も、市内10箇所自主避難所を早期に開設いたしました。

被害については、台風第5号では、倒木1件の被害があり、台風第7号では、市道の道路冠水6件、市道の法面崩壊4件、民地の法面崩壊1件、市道の道路陥没1件、林道への土砂流出1件、倒木3件等の被害がありました。

次に、**市制施行100周年記念事業**については、8月9日・10日には、市制施行100周年記念事業の一つとして「東北SDGs未来都市サミット in こおりやま広域圏」を開催し、二日目の基調講演には多くの市民の皆様にご参加いただいたほか、渥美東松島市長、近藤米沢市長、そして私の3名でパネルディスカッションを行い、「次の100年に向けたウェルビーイングなまちづくり」をテーマに、様々な意見を交わしました。また、サミットの最後には、東北地方のSDGs未来都市16自治体全ての首長の連名で、SDGsの目標達成に向けた共同宣言を行いました。

8月24日には、水道及び下水道への理解を深めるため、本市水道水の最大

の水源地である猪苗代湖における湖岸清掃や、下水道処理施設の見学等を行う「上下水道施設周遊バスツアー」を開催し、多くの皆様に御参加いただきました。

市制施行日である9月1日に予定しておりました「未来へつなぐ100周年メモリアルイベント」は、台風第10号の影響を考慮して開催を見送り、今後代替イベントを検討することとしました。なお、同イベントで初公開を予定しておりました本市フロンティア大使である「GREEN BOYZ (グリーンボーイズ)」が、市制施行100周年を記念して制作した楽曲につきましては、本市公式ユーチューブチャンネルにおいて同日公開いたしました。また、同日夜に予定しておりました「祝賀花火」につきましては、9月16日に延期いたしました。

次に、**少子化対策**については、厚生労働省が8月30日に発表した本年1月から6月までの人口動態統計において、出生数が過去最少の約35万人となったことなどを受け、少子化・人口減少下におけるウェルビーイングなまちづくりについて、その一環として、本市の将来を担っていく市Z世代職員により構成する「郡山市Z世代職員コミュニティ会議」において研究を進め、提言を求めることとしました。

次に、**アナログ規制の見直し**については、2022（令和4）年11月にデジタル庁から、「地方公共団体におけるアナログ規制の点検・見直しマニュアル」が示されたことを受け、書面・対面といったアナログ的な手法を前提とする手続きについて見直しを行い、アナログ規制に該当する条項791件のうち、「要見直し」とした118件について、条例改正等により見直しを図りました。

こうした迅速な対応により、先行する自治体として本市を含む6団体が選出され、デジタル庁が実施する条例等の改正に係る分析調査へ協力することとなっております。

次に、**DXの推進状況及び今後の予定**については、デジタルツールを活用した業務効率化につきましては、2019（令和元）年度からRPAを導入し、昨年度は54シナリオの実行により年間約5,000時間の業務量を削減することができました。

今年度はテキスト生成AI及び専門知識がなくても職員自らアプリ開発

が可能なローコードツール「kintone（キントーン）」の利用環境を拡充して利活用を進め、更なるタイムパフォーマンス、コストパフォーマンスの向上を図ってまいります。

次に、**マイナンバーカードの普及・利用促進**については、8月末日現在の本市のカード保有率は76%であり、今後、紛失等の特定の要件を満たした方を対象に、申請から1週間以内にカード交付ができる特急発行の仕組みを創設し、本年12月から開始する予定としております。

次に、**資源物回収スポットマップの公開**については、本年6月に生活系ごみの組成調査を実施した結果、燃やしてよいごみの中に、資源物として排出できるものが11.7%含まれておりました。このことから、ごみの減量と資源物の有効活用を図るため、民間事業者の方々のご協力のもと、本市及び民間事業者の設置する資源物回収ボックスを、8月1日から本市ウェブサイト上にある郡山市地理情報システムで公開いたしました。

今後におきましても、ごみ減量やリサイクル推進を積極的に図ってまいります。

次に、**トップスポーツチームとの連携**については、本市をホームタウンとするトップスポーツチームの2024-25シーズン公式戦が、バスケットボールチームの福島ファイヤーボンズについては、10月5日、バレーボールチームの福島デンソーエアリービーズについては、10月12日から始まります。

現在、来年4月のリニューアルオープンに向け宝来屋郡山総合体育館を改修しており、ホームゲームが郡山市外の県内各地で行われることから、SNS等を活用したホームゲームのPRや応援グッズの作成などの支援を行ってまいります。

次に、**ふくしま逢瀬ワイナリー**については、本年5月31日付け「公益財団法人三菱商事復興支援財団が所有する醸造加工施設等資産の郡山市への寄付に関する協定書」の趣旨に基づき、8月27日から公募型プロポーザル方式により、当該施設の運営事業者募集を開始したところであります。

続きまして、**提出議案の概要**について申し上げます。

はじめに、**補正予算の概要**であります。

今回の補正予算は、「令和6年度予算編成方針」をベースとしつつ、更に市民のウェルビーイングを実現するため「人への投資」、「未来へ向けた環境整備」として、時宜に叶った今後必要となる予算を編成いたしました。

はじめに、「**人への投資**」についてであります。

児童手当の抜本的拡充につきましては、本年10月より児童手当法の一部が改正され、対象者の支給期間延長・所得制限の廃止・支給額の増額変更などが図られることから、これらに速やかに対応するための経費を計上しております。

次に、放課後児童クラブの増設については、来年度以降の入所児童数の増加に対応するため、明健、行健第二小学校の2クラブに2教室の増設を行い、計60名の定員増に要する経費を計上しております。

次に、県内企業に就職する東京圏の学生への支援については、東京圏に在住し、都内に本部がある大学で東京圏のキャンパスに通学する卒業年度の学生に対して、国・県の補助制度を活用した上で、本市独自の上乗せを行い、内定企業への就職活動に要した費用を補助する経費を計上しております。

次に、新型コロナウイルスワクチン定期予防接種については、新型コロナウイルス感染症の重症化予防を目的として、65歳以上の高齢者等を対象に、本年10月1日から翌年1月31日まで、定期予防接種を実施するため、ワクチン接種費用の一部助成に要する経費を計上しております。

続きまして、「**未来へ向けた環境整備**」についてであります。

郡山公会堂入口整備については、市制施行を記念して建設された郡山公会堂建設当時の電燈を復元し、本市のシンボルに新たな光を灯すことで、先人の遺徳を偲びつつ、観光資源としての魅力向上を図るため、電燈製作に要する経費を計上しております。

次に、誰もが投票しやすい環境づくりについては、視覚障がいを持つ方々が、不安や不便を感じることなく投票できる環境の更なる充実を図るため、音声コード付きハガキの作成等に要する経費を計上しております。

次に、猪苗代湖のラムサール条約登録については、磐梯朝日国立公園が指

定から明日で75年目を迎え、本市の貴重な水源であり、かけがえのない財産でもある猪苗代湖の「保全・再生」、「賢明な利用（ワイズユース）」、そのために必要な「交流・学習」活動を将来にわたり推進するため、福島県、会津若松市及び猪苗代町との連携のもと、申請に必要な「ラムサール条約湿地情報票」の作成や市民の皆様への周知・啓発に要する経費を計上しております。

今後は、環境省や関係団体等の御支援、御指導のもと、来年7月にジンバブエ共和国ビクトリアフォールズ市で開催されるラムサール条約第15回締約国会議（COP15）での登録を目指してまいります。

次に、「あさか舞」の販売促進については、震災後、郡山市産米の販路が途絶えていた沖縄県を対象に、イオン株式会社様、JA福島さくら様と連携し、「イオン未来共創プログラム」を活用した販促活動に要する経費を計上しております。

次に、中学校給食センター整備事業については、市内2つの中学校給食センターを、PFI手法により、集約化・新設するための準備等に要する経費を計上しております。

次に、道路維持管理事業については、良好な道路環境を維持し、交通事故の防止、環境への負荷の軽減等を図るため、道路パトロールにより確認した道路、橋りょうの損傷箇所の補修及び幹線道路の予防保全型修繕工事等に要する経費を計上しております。

以上が補正予算の概要であり、この結果、**一般会計補正予算案**は、75億9,903万2千円、累計では、1,491億3,119万1千円となり、前年度同期と比較し、0.7パーセントの増となります。

また、**特別会計補正予算案**は、前年度繰越金の確定に伴い補正する国民健康保険特別会計など、16の特別会計において、それぞれの目的に沿った経費を計上しております。

この結果、特別会計補正予算総額は、12億6,704万1千円、累計では、1,060億4,520万5千円、前年度同期と比較し、0.1パーセントの増となります。

従いまして、一般及び特別両会計の補正予算額は、88億6,607万3千円、累計額は、2,551億7,639万6千円となり、前年度同期と比較し、0.4パーセント

の増となります。

次に、**条例及びその他の議案**としては、「郡山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」など条例議案 5 件、「工事請負契約について」などその他の議案 6 件を提出しております。

よろしく御審議の上、御賛同を賜りますようお願い申し上げ、提案理由といたします。

なお、本会期中に人事案件及び令和 5 年度の各会計歳入歳出決算認定議案を追加提出いたしますので、あらかじめ御了承をお願い申し上げます。

以 上